



黄金の森

2023年6月19日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第6号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

戦後78年 平和について考えよう



6/23(金)は、「慰霊の日」。沖縄だけが条例で定められた休日になっています。ここ沖縄では、日本で唯一地上戦が行われました。沖縄戦では、20万人をこえる戦死者、その中で9万4000人余りが一般県民や子どもとなっています。そのため、慰霊の日は沖縄県民にとって特別な日なのです。このような悲惨な戦争を二度と起こさないためにも、戦後78年、この日を機会に平和について考えてみましょう。

沖縄全戦没者追悼式 「平和の詩」

「慰霊の日」の沖縄全戦没者追悼式で朗読される「平和の詩」に、つくば開成国際高等学校3年平安名 秋さんの作品が選出されました。

今、平和は問いかける
私立つくば開成国際高等学校三年 平安名 秋

夏六月
溶けかけたアイスを手に取り走り出す
緑萌ゆるこの島の昼下がり
礎に刻まれた「兄」に
まるであの日のように
そっと触れるおばあちゃんの涙は
陽炎が登る摩文仁の丘に
ただ果てしなく広がっていく
その涙は体を包み込み
私を「あの日」へといざなう
限らないこの空は
何を覚えているのだろう
涙に満ちたおばあちゃんの瞳は
何を語りかけているのだろう
七十八年前の
あの日
あの時
かけがえのない
たったひとつの命が
憎しみと悲しみの中で
散っていった
名も無き赤子の
微かな
微かな泣き声は
震える母の手によって
冷たく光の無いガマの中で
儚く消えていった
幾多もの砲弾が
紺碧の海を黒く染める鉄の嵐となって
この島に降り注いだ
戦争が起きる前
そこには日常があった

私達と同じように
原っぱを駆け回り
友達とおしゃべりする
みんな暖かいご飯を食べ
時には泣き
時には笑い
時には「ありがとう」を伝える
そんな今と変わらない日常が
平和が
そこにはあった
平和は不確か
脆く崩れやすい
いつもすぐそばにあるのに
いつのまにか消えていく
おばあちゃんの涙は
摩文仁の丘に永遠に灯る平和の火は
今、私達に問いかける
平和とは何かを
私達に出来ることは何かを
私は過去から学び
そして未来へと語り継いでいきたい
おばあちゃんの涙を
沖縄の想いを
かけがえのない人達を
決して失いたくはないから
今日も時は過ぎていく
いつもと変わらずに
先人達が紡いできた平和を
次は私達が紡いでいこう
そして世界に届けていきたい
平和を創り
守っていく
この沖縄の「チムグクル」を

平安名さんの詩には、沖縄戦で亡くなった兄を思い、平和の礎で涙する祖母を前にして、平和を語り継ぐことを決意する心情が書き綴られています。今回審査にあたった審査員からは「情感あふれる見事な描写で、読み手に『平和』とは何かを改めて考えさせてくれる秀逸な作品」と評価されました。平安名さんの詩は933点の作品の中から選ばれ、通信制の学校に通う生徒の作品が朗読に選ばれるのは今回が初めてとなりました。

【次頁あり】



「沖縄から平和を紡ぐ」
砂川理々那さん(港川中学校)
作品
全戦没者追悼式冊子に掲載



「この願い、届いて」
宮平愛香さん(小禄高校)作品
全戦没者追悼式のパンフレット
に掲載

今でも世界では、戦争や紛争が続いている国や地域があります。皆さんも、今一度平和について真剣に考え、自分なりにできることに取り組んでみてはどうでしょう。

各学年の「平和への提案」

各学年美術の時間を利用して作成した『平和への提案』です。みんなの願いが表れています。



校長クイズ

- あなたは「いあうえお、しすせそ」だね。さて何？
- 私の好きな野菜は「ん!ん!ん!ん!ん!」さて何？

前号クイズの解答

- うがい
- もなか